

# デジタル4Kビデオ カメラレコーダー

## 取扱説明書



ヘルプガイド(Web取扱説明書)  
Web上のマニュアル「ヘルプガイド」も  
ご覧ください。パソコンやスマート  
フォンでご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/cam/1630/ja/>

準備する

撮る/見る

残す

使いこなす

その他



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HANDYCAM®

# 警告 安全のために

→ 69～72ページも  
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



## 「安全のために」の注意事項を守る

### 定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・  
においがしたら  
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
  - ② 電池を外す
  - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

### 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

### 警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

#### 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

#### 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

#### 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

### 電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含まれます。

## 詳しく知りたい (ヘルプガイド)

「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。

### ヘルプガイドの掲載ページ にアクセスする。

[http://rd1.sony.net/help/  
cam/1630/ja/](http://rd1.sony.net/help/cam/1630/ja/)



ヘルプガイドでは以下の機能などを詳しく説明しています。

- タイムラプス撮影
- TC/UB (タイムコード/ユーザービット)
- ハイライトムービーメーカー
- ライブストリーミング
- マルチカメラコントロール
- トリミングプレイバック

## 目次

安全のために.....	2
詳しく知りたい(ヘルプガイド) ...	3
動画の記録方式を選ぶ.....	4

### 準備する

付属品を確かめる.....	6
バッテリーを充電する.....	7
電源を入れる.....	10
メモリーカードを入れる.....	11
久しぶりに使うときは.....	14

### 撮る/見る

撮る.....	15
マニュアルで撮る.....	18
見る.....	20
テレビで見る.....	24

### 残す

パソコンに映像を取り込む.....	28
動画のディスクを作成する.....	29
外部機器に映像を保存する.....	31
Wi-Fi機能を使う.....	35

### 使いこなす

メニューを設定する.....	41
メニュー一覧.....	42

### その他

故障かな?と思ったら.....	50
使用上のご注意.....	58
主な仕様.....	61
保証書とアフターサービス.....	65
各部のなまえ.....	66
安全のために.....	69
索引.....	73

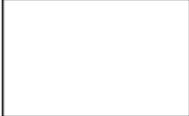
# 動画の記録方式を選ぶ

本機は、「XAVC S」に対応しています。

## XAVC Sとは？

4Kなどの高解像度の映像を、MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮してMP4ファイル形式で記録するフォーマットです。データの容量を一定レベルに抑えながら高画質で記録することができます。

### 本機で選べる記録方式とその特長

	XAVC S 4K	XAVC S HD	AVCHD
画素数	 3840 × 2160	 1920 × 1080	 1920 × 1080
ビットレート <sup>*1</sup>	60 Mbps/ 100 Mbps	50 Mbps <sup>*2</sup>	最大28 Mbps
特長	4Kで記録。4Kテレビをお持ちでないかたも、将来のためにこちらで撮ることをおすすめします。	AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。	パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。

<sup>\*1</sup> ビットレートとは、一定時間あたりの記録データ量です。

<sup>\*2</sup> ハイスピード録画のときは、60 Mbps/100 Mbpsから選択します。

### 記録方式と選べる撮影モード

記録方式	XAVC S 4K	XAVC S HD	AVCHD
撮影モード	動画	動画 ハイスピード録画	動画 なめらかスロー録画 ゴルフショット

- **MENU** → [画質・画像サイズ] → [**REC**記録方式] で記録方式を変更します。

## 動画の保存方法

記録方式	保存方法	保存画質	ページ
XAVC S 4K	ソフトウェア	XAVC S 4K	28
XAVC S HD	PlayMemories Home™ でパソコンに保存 ● 外付けメディア	XAVC S HD	28
AVCHD	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存	AVCHD	28
	● ブレーレィディスクレ コーダー ● 外付けメディア	AVCHD	32 34

- 最新の保存環境については、下記ウェブサイトをご確認ください。  
<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>
- AVケーブル(別売)とレコーダーをつないで、アナログで保存することもできます。画質は標準画質になります(33ページ)。
- 外付けメディアへの動画のダイレクトコピーには、USBアダプターケーブル(別売)が必要です。
- ディスクの作成については、「動画のディスクを作成する」(29ページ)をご覧ください。

## 画像をスマートフォンに転送するには

Wi-Fiで本機とスマートフォンをつないで、MP4動画をスマートフォンに転送することができます(35ページ)。MP4動画はWebアップロードに適したファイル形式です。[同時ビデオ記録]を[入]にすると、XAVC S 4K動画、XAVC S HD動画、AVCHD動画を記録中にMP4動画が同時記録されます。

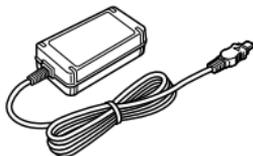
# 付属品を確かめる

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

( )内は個数。

## 共通

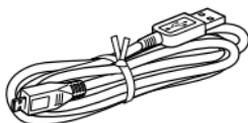
- 本機 (1)
- ACアダプター (1)



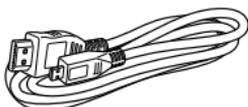
- 電源コード (1)



- マイクロUSBケーブル (1)



- HDMIケーブル (1)

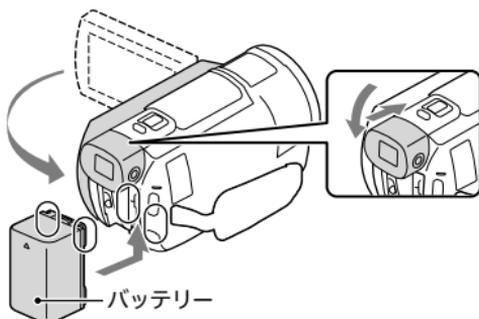


- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70 (1)



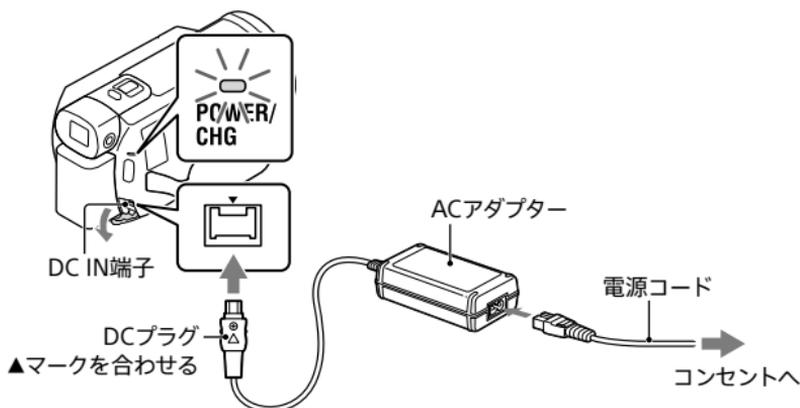
# バッテリーを充電する

- 1 液晶モニターを閉じ、ファインダー\*を収納して、バッテリーを取り付ける。



\* ファインダー搭載モデル(FDR-AX55)のみ

- 2 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。



- POWER(電源) /CHG(充電) ランプがオレンジ色に点灯します。
- POWER(電源) /CHG(充電) ランプが消灯したら充電完了です(満充電)。ACアダプターを本機のDC IN端子から取り外してください。

## パソコンに接続して充電する

本機の電源を切り、本機のマルチ/マイクロUSB端子(66ページ)とパソコンのUSB端子をマイクロUSBケーブルで接続します。

- パソコンがスリープ(休止)状態にならないよう設定変更の上、本機を充電してください。

## 充電時間の目安(分)

バッテリー型名(付属)	ACアダプター(付属)	パソコン使用時
NP-FV70	205	555

- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25℃の環境下で満充電をしたときの時間です。

## 付属バッテリーの撮影/再生可能時間の目安(分)

バッテリー型名	撮影時間		再生時間
	連続撮影時	実撮影時	
NP-FV70	150	75	250

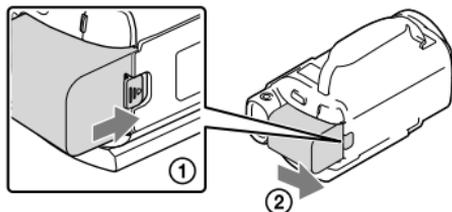
- 25℃で、満充電から使用したときのおよその時間です。
- お買い上げの設定([**設定**]記録方式) : [**4K**]XAVC S 4K]、([**設定**]録画モード) : [60Mbps **60**]、[同時ビデオ記録] : [切])での撮影時間です。
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、撮影モードの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 液晶モニターを使用した撮影時間です。

## コンセントに接続して本機を使う

「バッテリーを充電する」の方法で、本機とコンセントを接続します。

## バッテリーを取り外す

電源を切った状態で、BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら①、バッテリーを取り外す②。



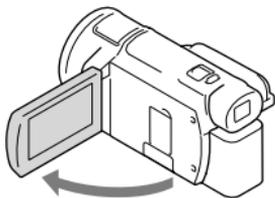
## 海外で充電する

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用しないでください。

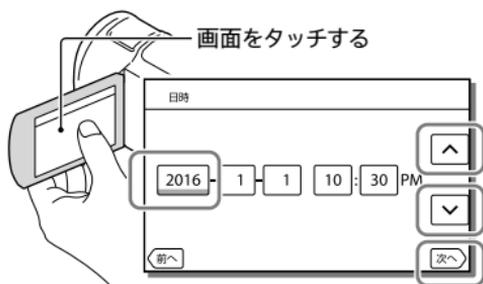
# 電源を入れる

## 1 液晶モニターを開いて電源を入れる。



- ファインダーを引き出すことでも、電源を入れることができます。  
(ファインダー搭載モデル(FDR-AX55)のみ)

## 2 本機の画面に従って、エリア、サマータイム、表示形式、日時を設定する。



## 電源を切る

液晶モニターを閉じる。

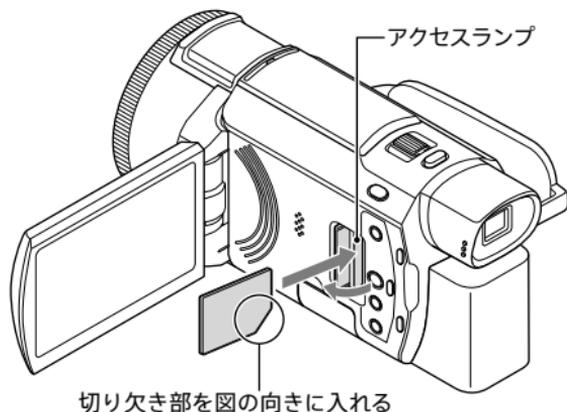
- ファインダーを引き出している場合は、押し戻してください。  
(ファインダー搭載モデル(FDR-AX55)のみ)

## 操作音を切る

**MENU** → [セットアップ] → [ 一般設定] → [操作音] → [切] を選ぶ。

# メモリーカードを入れる

1 カバーを開き、メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む。



- [管理ファイル準備中 しばらくおまちください]というメッセージが表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。
- 本機の内蔵メモリーに記録する場合は、メモリーカードは不要です。

## 本機で使えるメモリーカード

以下の一覧を参考にし、使用するメモリーカードを選んでください。

メモリーカード	AVCHD	XAVC S
メモリースティック PRO デュオ	○ (Mark2のみ)	—
メモリースティック PRO-HGデュオ™	○	—
メモリースティック マイクロ™ (M2)	○ (Mark2のみ)	—
SDメモリーカード	○ <sup>*1</sup>	—
SDHCメモリーカード	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>
SDXCメモリーカード	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>
microSDメモリーカード	○ <sup>*1</sup>	—
microSDHCメモリーカード	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>
microSDXCメモリーカード	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>

\*1 SDスピードクラス4: CLASS④以上またはUHSスピードクラス1: ①以上

\*2 以下の条件を満たすメモリーカード

– 容量4GB以上

– SDスピードクラス10: CLASS⑩またはUHSスピードクラス1: ①以上  
100Mbps以上で記録する場合は、UHSスピードクラス3: ③が必要です。

## ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。  
本機で再生する場合は、連続で再生されます。  
PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱うことができます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- メモリースティック マイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマイクロUSBケーブルで接続して取り込んだり再生したりすることはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。  
対応していない機器に接続した場合はフォーマット(初期化)を促すメッセージが表示される場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。  
(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

## 記録/再生メディアをメモリーカードに切り換える

[MENU] → [セットアップ] → [メディア設定] → [メディア切換] → [メモリーカード] を選ぶ。

## メモリーカードを取り外す

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押す。

## 記録メディアをフォーマットする

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。
- フォーマットするには、**MENU** → [セットアップ] → **メディア設定** → [フォーマット] → フォーマットしたい記録メディア → **OK** を選びます。
- メモリーカードをフォーマット（初期化）すると、記録されているすべてのデータが消去されます。元に戻すことはできませんので、大切なデータはパソコンなどに保存してください。

# 久しぶりに使うときは

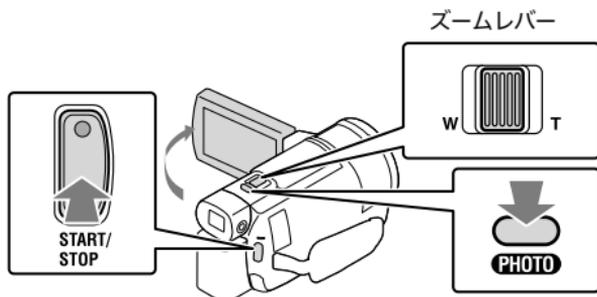
2～3か月ぶりに本機を使用する場合は、次の確認をしてからご使用ください。

- 日付と時計が初期化されている場合は、**MENU** → [セットアップ] → [時計設定] → [日時設定] で設定しなおしてください。
- 使用する前に、必ず本機を充電してください。詳しくは、「バッテリーを充電する」(7ページ)をご覧ください。
- 過去に撮影した画像を見る場合は、記録方式の切り換えが必要になる場合があります。詳しくは、「見る」(20ページ)をご覧ください。

# 撮る

## 動画を撮る

- 1 液晶モニターを開き、START/STOPボタンを押して動画撮影を始める。



- 撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。
- 本機を数秒間操作しないと、液晶モニターの表示が消えます。再度表示するには、液晶モニターのボタン以外の部分をタッチします。

### ご注意

- [XAVC S 4K 100Mbps]、[XAVC S 4K 60Mbps]動画記録中は、映像の外部出力(HDMI出力/AVケーブル出力)はできません。

### MP4動画を同時に記録する(同時ビデオ記録)

[同時ビデオ記録]を[入]にすると、XAVC S 4K動画、XAVC S HD動画またはAVCHD動画とMP4動画を同時に記録することができます。

[MENU] → [画質・画像サイズ] → [同時ビデオ記録] → 希望の設定を選ぶ。

- MP4は、スマートフォンでの再生やネットワークへのアップロード、Web公開が簡単に行えるファイル形式です。

### 動画撮影中に静止画を記録する(写真同時記録)

動画撮影中にPHOTOボタンを押して、静止画を撮影できます。

## ご注意

- [記録画モード]や[フレームレート]の設定によっては、静止画を撮影できません。
- 保存先の記録メディア(内蔵メモリー/メモリーカード)を、動画と静止画で分けることはできません。

## 撮影者の声を抑えて撮る(マイボイスキャンセリング)

◀▶ボタン(67ページ)を押すと、動画撮影時に撮影者の声を抑えて撮影できます。

## およその撮影可能時間

記録方式	内蔵メディア <sup>*1</sup>	メモリーカード <sup>*2</sup>
XAVC S 4K	2時間10分	64GB : 2時間05分 <sup>*3</sup>
XAVC S HD	2時間35分	64GB : 2時間35分 <sup>*4</sup>
AVCHD	8時間15分	16GB : 2時間00分 <sup>*5</sup>

<sup>\*1</sup> 記載されている最大撮影時間まで使用する場合は、デモンストレーション用の動画の削除が必要です。

<sup>\*2</sup> ソニー製メモリーカード使用時です。

<sup>\*3</sup> [記録方式]が[4K]XAVC S 4K]、[記録画モード]が[60Mbps **60**]、[同時ビデオ記録]が[切](お買い上げ時の設定)で撮影した場合のおよその撮影可能時間です。

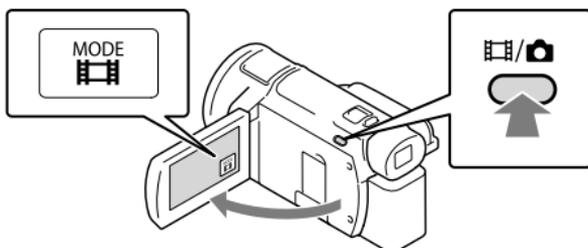
<sup>\*4</sup> [記録方式]が[HD]XAVC S HD]、[フレームレート]が[60p]で撮影した場合のおよその撮影可能時間です。

<sup>\*5</sup> [記録方式]が[HD]AVCHD]、[記録画モード]が[高画質**FH**]で撮影した場合のおよその撮影可能時間です。

- 実際の撮影可能時間/枚数は液晶モニター上でご確認ください。

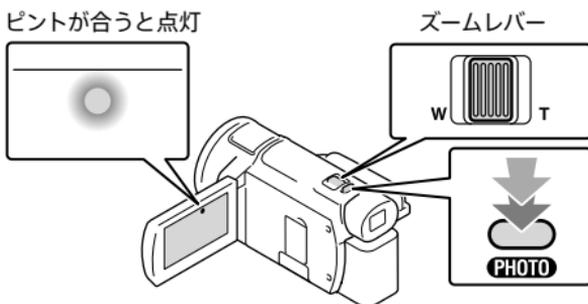
## 静止画を撮る

### 1 液晶モニターを開き、[MODE] → (静止画) を選ぶ。



-  (動画) /  (静止画) ボタンを押して動画/静止画を切り換えることもできます。(FDR-AX55)

### 2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押す。



# マニュアルで撮る

## 絞り(アイリス)優先で撮る

1 [MENU] → [カメラ・マイク] → [M マニュアル設定] → [絞り] で [マニュアル] を選ぶ。

2 [ + ] / [ - ] を選んで調節する。

- 液晶モニターのF値(例: F2.0)が小さくなるほど絞りが開き、ピントの合う範囲が狭くなります。
- 背景をぼかしたいときは絞りを開け、全体をシャープに表現したいときは、絞ってください。
- マニュアルリング(FDR-AX55)で調節することもできます。(19ページ)

## シャッタースピード優先で撮る

1 [MENU] → [カメラ・マイク] → [M マニュアル設定] → [シャッタースピード] で [マニュアル] を選ぶ。

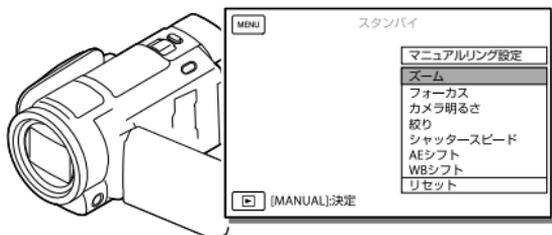
2 [ + ] / [ - ] を選んで調節する。

- 液晶モニターのシャッタースピード値(例: 60)が小さくなるほど、流れるような表現になります。
- 例えば溪流を撮る場合、シャッタースピードを速くすると水滴を細かく描写できます。遅くすると、水しぶきを流れるように表現できます。
- マニュアルリング(FDR-AX55)で調節することもできます。(19ページ)

## よく使う機能をマニュアルリングに割り当てる (FDR-AX55)

### 1 MANUAL (マニュアル) ボタン (67ページ) を数秒間押し続ける。

- 設定可能な機能が、[マニュアルリング設定] 画面に表示されます。



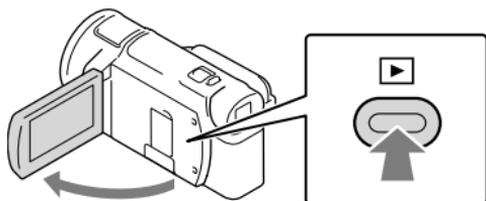
### 2 マニュアルリング (67ページ) を回して、割り当てたい機能を選び、MANUAL (マニュアル) ボタンを押す。

#### 割り当てた機能を使う

- ① MANUAL (マニュアル) ボタンを押して、手動にする。
  - ② マニュアルリングを回して、調節する。
- 自動に戻すには、もう一度MANUAL (マニュアル) ボタンを押します。
  - ズーム機能が割り当てられている場合は、マニュアルリングのみの操作となります。

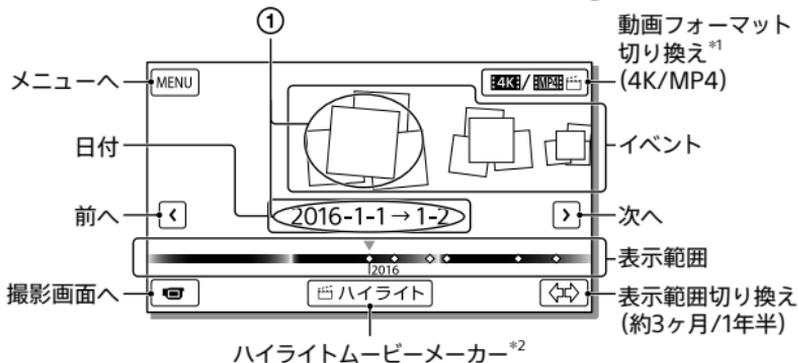
# 見る

- 1 液晶モニターを開き、▶(画像再生)ボタンを押して再生モードにする。



- イベントビュー画面が表示されます。

- 2 ◀/▶で見たいイベントを中央に表示させ、①の部分を選ぶ。

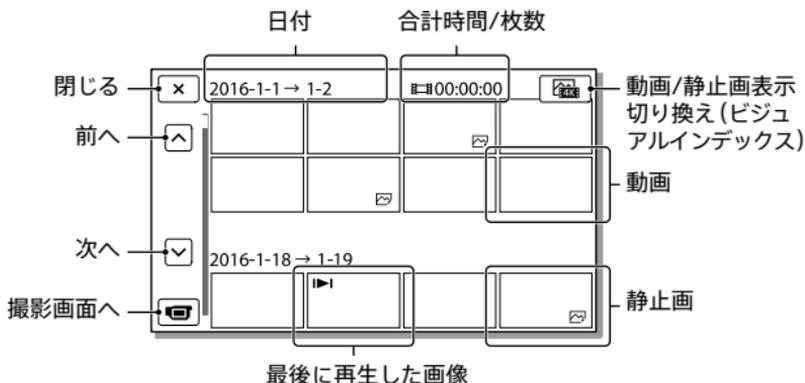


\*1 [■記録方式]の設定に応じてアイコンの表示が異なります。(23ページ)

\*2 記録方式がAVCHDの場合のみ表示されます。

- 動画と静止画は、同じ記録メディア(内蔵メモリー/メモリーカード)に保存されています。
- 再生/編集/他機に保存するXAVC S動画またはAVCHD動画を選ぶには、**[MENU]→[画質・画像サイズ]→[■記録方式]**で選んでください。
- XAVC S 4K動画を再生するときは、設定されているフレームレートの画像のみ選ぶことができます。再生したい画像に合わせてフレームレートを変更してください。

### 3 画像を選んで、再生する。



### 動画/静止画表示切り換え(ビジュアルインデックス)画面

再生したい画像が選べます。



### 再生時の操作

🔊 音量	⏮️/⏭️ 前へ/次へ
🗑️ 削除	🔄/🔄 早戻し/早送り
🔧 設定可能な機能	⏸️/▶️ 一時停止/再生
■ 止める	🔄 スライドショーの開始/停止
🎬 モーションショットビデオ	🎬 モーションショットビデオ設定

## 画像を削除する

- ①  →  →  で削除するフォーマットを選ぶ。<sup>\*</sup>
  - の条件によって表示される設定が異なります。
- ②  →  →  →  で削除する画像の種類を選ぶ。
- ③ 削除したい画像に  を付け、 を選ぶ。

\*  が  の場合は、4K動画 (XAVC S 4K) またはHD動画 (XAVC S HD/AVCHD) のいずれかと、MP4動画が保存されています。

4K動画 (XAVC S 4K) またはHD動画 (XAVC S HD/AVCHD) を削除したい場合は、手順1から3を繰り返してください。

MP4動画を削除する場合は、記録方式をMP4へ切り換え (23ページ)、手順2から3を繰り返してください。

## 再生する記録方式を切り換える

### XAVC S 4KとXAVC S HDの切り換え

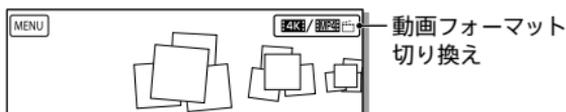
[MENU] → [画質・画像サイズ] → [記録方式] で切り換えます。

### AVCHDへの切り換え

[MENU] → [画質・画像サイズ] → [記録方式] で切り換えます。

### MP4への切り換え

- ① 「動画フォーマット切り換え」を選ぶ。



- 動画フォーマット切替画面が表示されます。

- ② 記録方式を選ぶ。



## 本機の画像をメモリーカードにコピーする

- ① [MENU] → [編集・コピー] → [コピー] → [内蔵メモリー→メモリーカード] → [画像選択] を選ぶ。
- ② コピーする画像の種類を選ぶ。
- ③ コピーする画像を選び、✓マークをつける。
- ④ [OK] → [OK] を選ぶ。

### ご注意

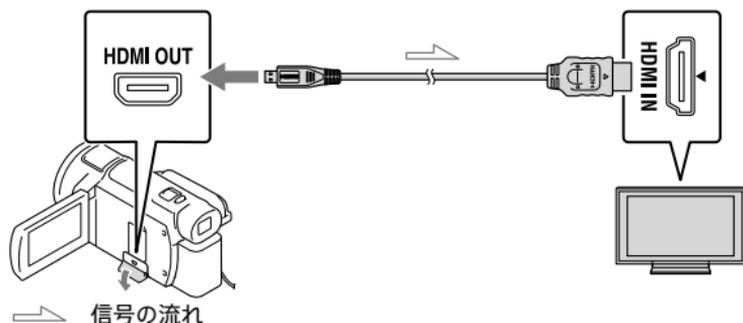
- 内蔵メモリーに保存されたXAVC S動画はSDHCカードやFAT形式の外部メディアへのコピーはできません。

# テレビで見る

## 画像を再生する

記録した記録方式と本機のイベントビューで選んでいる画像再生の種類とHDMI出力設定によって再生される画像に制限が入ることがあります。

- 1 HDMIケーブル(付属)で、本機のHDMI OUT端子とテレビのHDMI入力端子をつなぐ。



- 2 テレビの入力を HDMI INに切り換える。

- 3 本機で画像を再生する。

## 再生画像の設定方法

記録方式	つなぐテレビ	[HDMI解像度]	ビジュアルイン デックス (21ページ)	再生画質
XAVC S 4K	4Kテレビ	[オート]、 [2160p/1080p]	動画 静止画 動画/静止画	4K画質
		[1080p]、 [1080i]、 [720p]	動画 動画/静止画 静止画	HD (ハイビ ジョン)画質
	ハイビジョン テレビ	[オート]、 [1080p]、 [1080i]、[720p]	動画 静止画 動画/静止画	HD (ハイビ ジョン)画質
XAVC S HD AVCHD	4Kテレビま たはハイビ ジョンテレビ	[オート]、 [2160p/1080p]、 [1080p]、 [1080i]、[720p]	動画 動画/静止画	HD (ハイビ ジョン)画質
			静止画	4K画質 (4K テレビ接続 時のみ) *

\* 本機のHDMI解像度設定の解像度になります。

- HDMI解像度は[オート] (初期設定) で再生できます。
- [オート]でうまく再生できない場合は、HDMI解像度の設定を変更してください。

[MENU] → [セットアップ] → 接続 → [HDMI解像度] → 希望の設定を選ぶ。

- お使いのテレビにHDMI端子がないときは、AVケーブル (別売) で本機のマルチ/マイクロUSB端子とテレビの映像/音声入力端子をつないでください。

## ネットワーク対応のテレビと本機をつなぐ

セキュリティ設定されているアクセスポイントと本機を接続して (39ページ)、本機の (画像再生) ボタンを押した後で、[MENU] → [ワイヤレス] → 機能 → [テレビ鑑賞] で再生する画像の種類を選ぶ。

- AVCHDとMP4と静止画のみ、再生できます。

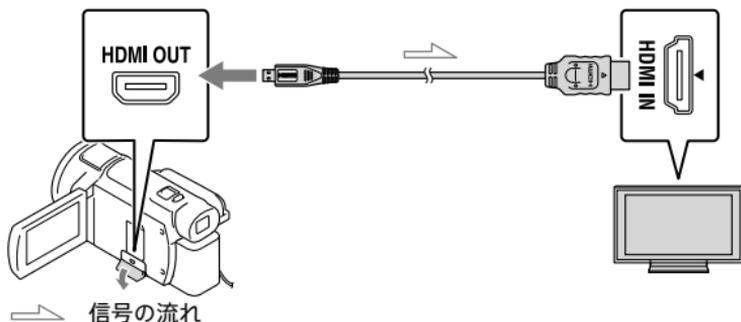
## XAVC S 4K動画を切り出し再生(トリミングプレイバック)で見る

記録方式をXAVC S 4Kとして撮影した動画を、拡大して見たい部分を切り出して、フルHD画質までズーム操作しながら再生することができます。

### 1 HDMI出力設定を変更する。

[MENU] → [セットアップ] → [接続] → [HDMI解像度] → 希望の設定を選ぶ。

### 2 HDMIケーブル(付属)で、本機のHDMI OUT端子とテレビのHDMI入力端子をつなぐ。



つなぐテレビ	[HDMI解像度]
4Kテレビ	[オート]*、[2160p/1080p]*、[1080p]、[1080i]、[720p]
ハイビジョンテレビ	[オート]、[1080p]、[1080i]、[720p]

\* 切り出し再生機能を入/切する際に黒画を数秒挟みます。

---

### 3 動画再生中に、**トリミングオン** (トリミングオン) をタッチして、切り出した位置を選択する。

- 再生画像は、HD (ハイビジョン) 画質で切り出されます。
- 

#### ご注意

- 本機の液晶モニターでは切り出して再生できません。

# パソコンに映像を取り込む

## PlayMemories Home™でできること

撮影した動画、静止画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。XAVC S動画、AVCHD動画をパソコンに取り込む場合はPlayMemories Homeが必要です。

- PlayMemories Homeは最新版にアップデートしてご使用ください。



本機から画像をパソコンに取り込み

Windowsは以下の機能も使えます。



カレンダー  
表示



動画ディスク  
を作成



ネットワーク  
サービスに  
アップロード

取り込んだ画像を  
再生する



PlayMemories  
Online™で画像  
をシェア



## PlayMemories Homeをダウンロードする

PlayMemories Homeは、以下のURLよりダウンロードできます。

<http://www.sony.net/pm/>

## パソコン環境を確認する

ソフトウェアのパソコン環境は、以下のURLよりご確認いただけます。

<http://www.sony.net/pcenv/>



# 動画のディスクを作成する

## 動画ディスクの種類を選ぶ

本機で記録した動画からディスクを作成することができます。ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。

### ご注意

- Mac版のPlayMemories Homeではディスクを作成できません。
- XAVC S動画とMP4動画(同時ビデオ記録)からのディスク作成は、ブルーレイディスクとDVD(AVCHD記録ディスク)のみ対応しています。また、PlayMemories Home Ver.4.3.00以上へのアップデートが必要です。

残す

## 作成できるディスクの種類と動画記録方式

ディスクの種類/ 目的	記録方式				再生機器
	XAVC S 4K	XAVC S HD	AVCHD	MP4	
<b>Blu-ray</b> (ブルーレイディスク) ハイビジョン画質 で残したい	○*1	○*1	○*2	○*1	ブルーレイディスク再生機器(ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など)
<b>DVD</b> ハイビジョン画質 (AVCHD記録ディスク)で残したい	○*1	○*1	○*3	○*1	AVCHD規格対応再生機器(ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など)
<b>DVD</b> 標準画質で記録して残したい	×	×	○	×	一般的なDVD再生機器(DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)

\*1 [設定] 記録方式] をXAVC SまたはMP4にして撮影した動画は、PlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。

そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。

\*2 以下の条件で撮影した動画からブルーレイディスクを作成するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

– [記録方式]がAVCHD

– [フレームレート]が[60p]で[録画モード]が[60p画質 **PS**]

\*3 以下の条件で撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。

変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

– [フレームレート]が[60p]で[録画モード]が[60p画質 **PS**]

– [フレームレート]が[60i]で[録画モード]が[最高画質 **FX**]

– [フレームレート]が[24p]で[録画モード]が[最高画質 **FX**]

## パソコンで動画ディスクを作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってディスクを作成できます (Windowsのみ)。お使いのパソコンが各ディスクの作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルで本機を接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます (インターネット接続が必要です)。標準画質でDVDを作成する場合は、画面の指示に従って専用のアドオンソフトウェアをインストールしてください。

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細は、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

## PlayMemories Homeで使えるディスクの種類について

PlayMemories Homeでは以下の12 cmのディスクを使えます。

ディスクの種類	特徴
BD-R* / DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできない。
BD-RE* / DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できる。

\* 追加記録はできません。

# 外部機器に映像を保存する

動画と静止画を保存する方法を説明します。相手機器の取扱説明書もご覧ください。

パソコンに動画を保存する場合は、PlayMemories Homeを使用してください(28ページ)。

## 動画の保存方法

接続する機器	使用ケーブル	保存できる画質/ 記録方式	保存できる メディア
USB端子があるレコーダー(ブルーレイディスクレコーダー)	マイクロUSBケーブル(付属)	HD(ハイビジョン)画質 ● AVCHDなど*	ブルーレイディスク
USB端子がないレコーダー	AVケーブル(別売)	標準画質	DVD
外付けメディア	USBアダプターケーブル VMC-UAM2(別売)	4K・HD(ハイビジョン)画質 ● XAVC S ● AVCHD	外付けメディア
パソコン	マイクロUSBケーブル(付属)	4K・HD(ハイビジョン)画質 ● XAVC S ● AVCHD	パソコンおよび接続している外付けメディア

\* 最新の保存環境については、サポート情報をご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>

- AVケーブル(別売)とレコーダーをつないで、アナログで保存することもできます。画質は標準画質になります(33ページ)。
- 外付けメディアへの動画のダイレクトコピーには、USBアダプターケーブル(別売)が必要です。
- ディスクの作成については、「動画のディスクを作成する」(29ページ)をご覧ください。

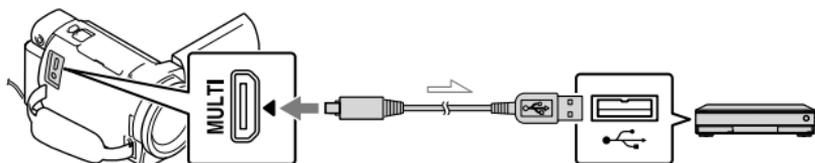
## ブルーレイディスクレコーダーに映像を保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。

1 バッテリーを本機に取り付ける。

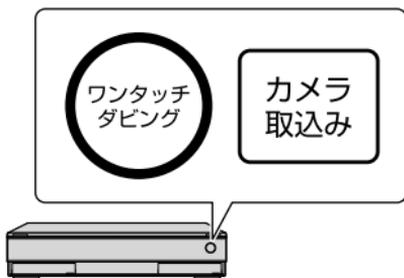
2 ACアダプター(付属)を接続する。

3 本機の電源を入れ、本機とブルーレイディスクレコーダーをUSBケーブルでつなぐ。



信号の流れ

4 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取込み」ボタンまたは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



- 一度もブルーレイディスクレコーダーに取り込まれたことがない画像がブルーレイディスクレコーダーに保存されます。

## 接続を終了するには

本機の画面で  [×] → [はい] を選びます。

### ご注意

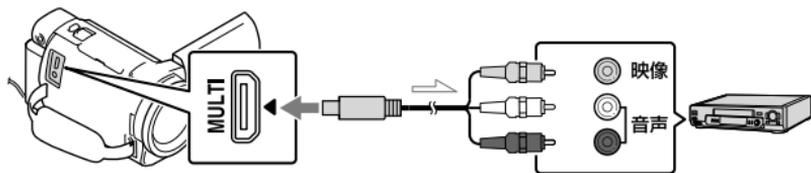
- ブレーレイディスクレコーダーに取り込む際は、サポート情報をご覧ください。  
<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>
- [60p画質 **PS**] で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。
- ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブレーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 一部のブルーレイディスクレコーダーでは、対象のカメラを認識できません。これは本機にexFAT(ファイルシステム)が採用されていることによります。

残す

## その他の機種に映像を保存する

### USB端子が無いレコーダーとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子とレコーダーを、AVケーブル(別売)でつなぎます。

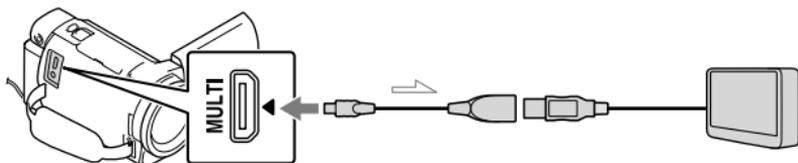


→ 信号の流れ

- 保存する方法については、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 標準画質で保存されます。

## USB外付けハードディスクとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子と、対応の外付けメディアを、USBアダプターケーブル VMC-UAM2 (別売) でつなぎます。



➡ 信号の流れ

- 4K・HD (ハイビジョン) 画質で保存されます。

## USB外付けハードディスクに保存する

外付けハードディスクなどのメディアに動画・静止画を保存します。

① 本機と外付けメディアをつなぐ。

- [管理ファイル準備中 しばらくおまちください] が表示されている間はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機に [管理ファイル修復] 画面が表示されたら、 を選びます。

② 本機の画面で [コピーする] を選ぶ。

- 使用している記録メディアに記録した画像のうち、外付メディアに保存されていない画像が保存されます。
- 本機に新たに記録した画像がない場合は選択画面が表示されません。
- 接続を終了するには、イベントビューまたはイベントインデックス画面で  を選びます。
- 外付けメディアに保存するときは、ACアダプター (付属) を接続してください。

# Wi-Fi機能を使う

## スマートフォン用アプリをインストールする

PlayMemories Mobile™の最新情報、機能詳細はこちらをご覧ください。



<http://www.sony.net/pmm/>

## Android OSの場合

Google playから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチの場合は、Android 4.0以上が必要です。

## iOSの場合

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。

## ご注意

- すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- 本機のWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。
- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

残す

## スマートフォンにMP4動画/静止画を転送する

### NFC対応のAndroidでワンタッチ接続する場合

- 1 スマートフォンの[設定]を起動して[その他の設定]を選び、[NFC/おサイフケータイ設定]の[NFC R/W P2P]または[Reader/Writer, P2P]にチェックを入れる。



### 2 本機でスマートフォンに転送したい画像を再生する。

- MP4動画または静止画のみ、転送できます。
- 再生時にMP4動画を選ぶには、「再生する記録方式を切り換える」(23ページ)をご覧ください。

### 3 本機とスマートフォンをタッチする。



マーク同士を合わせるようにタッチ

#### ご注意

- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- 本機とスマートフォンの画面に **N** が表示されていることを確認してください。
- スマートフォンでPlayMemories Mobileが起動するまで(1~2秒)、本機とスマートフォンを動かさずにタッチし続けてください。
- 一部の  がついているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- NFCでうまく接続できない場合は「QRコードを使ってWi-Fi接続する場合」で接続してください。

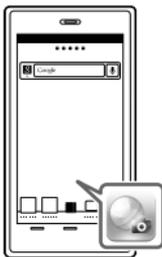
## QRコードを使ってWi-Fi接続する場合

1 (画像再生) ボタンを押してから、**MENU** → [ワイヤレス] → [機能] → [スマートフォン転送] → [カメラから選ぶ] → 画像の種類を選ぶ。

2 転送する画像を選び、をつけて **OK** → **OK** を選ぶ。  
• QRコード、SSID、パスワードが表示されます。



3 PlayMemories Mobile を起動する。



4 PlayMemories Mobile 上の [カメラのQRコード読取り] を選ぶ。



5 **OK** を選ぶ (メッセージが表示されたら再度 **OK** を選ぶ)。



6 本機のディスプレイに表示されているQRコードをスマートフォンで読み取る。

### Androidのとき

続けて以下の操作を行います。

- ① 「検出されたカメラと接続しますか」と表示されたら [つなげる] を選ぶ。

残す

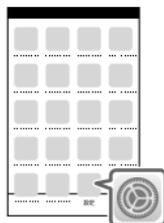
## iPhone/iPadのとき

続けて以下の操作を行います。

- ① 画面の指示に従ってプロフィール(設定情報)をインストールする。



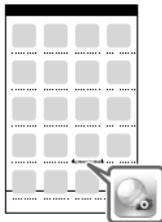
- ② ホームで「設定」→「Wi-Fi」を選ぶ。



- ④ SSIDを選ぶ。



- ⑤ ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。



- QRコードを読み込むと、カメラのSSID(DIRECT-xxxx)とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけでカメラとスマートフォンを接続できるようになります。
- NFCやQRコードを使ってもスマートフォンとカメラを接続できない場合は、SSIDとパスワードを使って接続してください。操作について詳しくは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

## スマートフォンをリモコンとして使う

本機の撮影機能の一部をスマートフォンで遠隔操作して撮影できます。

- 1 本機で **MENU** → [ワイヤレス] → [📶 機能] → [スマートフォン操作] を選ぶ。

## 2 「スマートフォンにMP4動画／静止画を転送する／QRコードを使ってWi-Fi接続する場合」の手順6(37ページ)と同じ操作を行う。

NFCを使う場合は、本機を撮影画面にして、本機の **N** とスマートフォンの **N** または **📶** をタッチします。

## 3 スマートフォンを操作する。

### ご注意

- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。

## Wi-Fiでパソコンに画像を保存する

あらかじめ、無線アクセスポイントまたは無線対応ブロードバンドルーターをパソコンにつないでください。

## 1 お使いのパソコンに専用のソフトウェアをインストールする(初回のみ)。

Windowsをお使いのかた：  
PlayMemories Home  
<http://www.sony.net/pm/>

Macをお使いのかた  
ワイヤレス自動取り込み  
<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

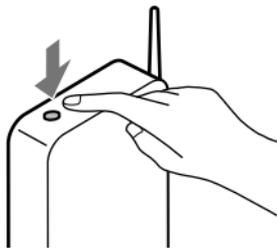
- すでに専用ソフトウェアがインストール済みの場合でも、必ず最新版をウェブサイトからインストールしてください。

## 2 本機を無線アクセスポイントに接続する(初回のみ)。

以下のどちらかの手順で登録を行えない場合は、無線アクセスポイントの説明書をご参照いただくか管理されているかたにお問い合わせください。

### お使いの無線アクセスポイントにWPSプッシュボタン\*がある場合

- ① 本機で **MENU** → [ワイヤレス] → [📶設定] → [アクセスポイント簡単登録] を選ぶ。
- ② 登録したい無線アクセスポイントのWPSボタン\*を押す。

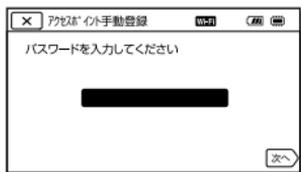


\* 無線アクセスポイントがAOSSとWPSの両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。

残す

## お使いの無線アクセスポイントのSSIDとパスワードをご存知の場合

- ① 本機で **MENU** → [ワイヤレス] → [設定] → [アクセスポイント手動登録] を選ぶ。
- ② 接続したい無線アクセスポイントを選び、無線アクセスポイントのパスワードを入力して **次へ** を選ぶ。



---

## 3 パソコンが起動していない場合は、パソコンの電源を入れる。

---

## 4 本機からパソコン保存を開始する。

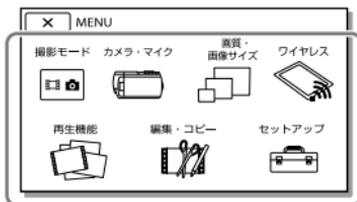
- ① 本機の **▶** (画像再生) ボタンを押す。
- ② **MENU** → [ワイヤレス] → [機能] → [パソコン保存] を選ぶ。
  - 画像保存を自動的に開始します。
  - 2回目以降は新しく撮影した画像のみ保存します。動画や複数枚の静止画を転送する場合、時間がかかります。

# メニューを設定する

## 1 MENUを選ぶ。



## 2 カテゴリーを選ぶ。



## 3 設定したいメニュー項目を選ぶ。



- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには [X] を選びます。

# メニュー一覧

📷 撮影モード	
動画	動画撮影モードに変更します。
静止画	静止画撮影モードに変更します。
タイムラプス撮影	一定の間隔で静止画を連続撮影します。撮影した静止画を組み合わせてPlayMemories Homeで動画を作成することもできます。
なめらかスロー録画	[AVCHD]画像撮影時に、約3秒間の高速な動作や現象を約12秒間のスローモーション映像として撮影します。 (ここから3秒間/ここまでの3秒間)
ゴルフショット	[AVCHD]画像撮影時に、2秒間の高速な動作を分割して、動画・静止画として記録します。
ハイスピード録画	[XAVC S HD]画像撮影時に、ハイスピード録画ができます。

## 📷 カメラ・マイク

### 🔧 マニュアル設定

ホワイトバランス	撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。 (オート/屋外/屋内/ワンプッシュ)
Spot測光フォーカス	タッチした被写体に明るさとピントが自動調整されます。
スポット測光	タッチした被写体に明るさが自動調整されます。
スポットフォーカス	タッチした被写体にピントが自動調整されます。
カメラ明るさ	画像の明るさを手動で固定できます。 (オート/マニュアル)
フォーカス	手動でピントを合わせられます。 (オート/マニュアル)
絞り	絞り優先で撮影します。(オート/マニュアル)
シャッタースピード	シャッタースピード優先で撮影します。 (オート/マニュアル)

AGCリミット	AGC(オートゲインコントロール)の上限値を設定できます。
AEシフト	露出をお好みに合わせて調節できます。 (切/入)
WBシフト	ホワイトバランスの効果を好みに合わせて調節できます。 (切/入)
Low Lux	薄暗いところで明るくカラーで撮影できます。 (切/入)

## カメラ設定

シーンセレクション	シーンを選んで撮影します。 (オート/夜景/日の出&夕焼け/打ち上げ花火/風景/ ポートレート/スポットライト/ビーチ/スノー)
ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、より印象的な表現の画像を撮影 できます。 (切/トイカメラ/ポップカラー/ポストリゼーション/レト ロフォト/ソフトハイキー/パートカラー/ハイコントラ ストモノクロ)
 シネマトーン	画質を調整して、映画のような雰囲気での撮影がで きます。 (切/入)
 フェーダー	場面間に、効果を入れながらつなぎ撮りできます。 (切/ホワイトフェーダー/ブラックフェーダー)
 セルフタイマー	PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒 後に静止画を撮影します。 (切/入)
 手ブレ補正	手ブレを補正して動画を撮影できます。 (インテリジェントアクティブ/アクティブ/スタンダード/ 切)
 手ブレ補正	手ブレを補正して静止画を撮影できます。 (入/切)
デジタルズーム	デジタルズームの最大倍率を設定します。 (切/250x)
フィルター/プロテク ター	フィルターやプロテクターを装着しているときに手ブレ 補正機能を最適化します。 (入/切)

自動逆光補正	自動で逆光補正をします。 (入/切)
マニュアルリング設定	よく使うメニュー項目をマニュアルリング操作に割り当てられます。(FDR-AX55)
NIGHTSHOT ライト	ナイトショット機能を利用して暗い場所で撮影するときの、赤外線ライトの点灯を設定します。(FDR-AX55) (入/切)

## 顔

顔検出	顔検出をするかしないかの設定をします。 (オート/切)
スマイルシャッター	笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影します。 (動画録画中のみ/常時/切)
スマイル検出感度	自動撮影する笑顔の検出感度を設定します。 (大笑い/普通の笑顔/ほほ笑み)

## フラッシュ\*1

フラッシュ	フラッシュの発光の方法を設定します。 (オート/強制発光/発光禁止)
フラッシュレベル	フラッシュの発光量を調節します。 (明るい/標準/暗い)
赤目軽減	フラッシュが発光するときに予備発光し、目が赤く光るのを抑制します。 (切/入)

## マイク

マイボイスキャンセリング	撮影者の声を低減して、被写体の音声をはっきり記録します。 (切/入)
内蔵ズームマイク	ズームと連動して、臨場感のある音声を記録できます。 (切/入)
自動風ノイズ低減	内蔵マイクで記録時に風ノイズのレベルに応じて低域の風ノイズを自動的に低減します。 (切/入)
オーディオモード	録画時の音声フォーマットを変更できます。 (5.1chサラウンド/2chステレオ)
録音レベル	録音される音量を調節できます。 (オート/マニュアル)

## 撮影補助

マイボタン登録	撮影時によく使う項目をマイボタンに登録できます。
ピント拡大	マニュアルフォーカス時に画面の中央が約2倍に拡大されます。(FDR-AX55) (切/入)
グリッドライン	グリッドラインを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。(切/入)
画面表示設定	撮影時の画面表示の設定をします。(オート/入)
ゼブラ	画面に映る映像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。(切/70/100)
ピーキング	ピントが合っている被写体の輪郭が色を付けて表示されるので、ピントが合わせやすくなります。(切/白/赤/黄)
音声レベル表示	音声レベルの表示を設定します。(入/切)

## 画質・画像サイズ

 録画モード	XAVC S 4K動画およびAVCHD動画の画質を選べます。
 フレームレート	動画のフレームレートが選べます。
同時ビデオ記録	動画の記録時にMP4動画を同時に記録するかどうかを設定します。 (入/切)
 記録方式	撮影、再生時の記録方式を設定します。
 画像サイズ	静止画の画像サイズを変更します。

## ワイヤレス

### 機能

スマートフォン操作	スマートフォンをリモコンとして本機を操作します。
マルチカメラコントロール	本機を使って、Wi-Fiで接続した他のカメラを操作します。
ライブストリーミング	本機で撮影している映像を、本機とテザリングしたスマートフォンあるいはWi-Fiルーターを経由して、USTREAMなど動画共有サイトにライブ配信をします。
スマートフォン転送	スマートフォンに本機で撮影した画像を転送します。

パソコン保存	本機で撮影した画像をパソコンに転送します。
テレビ鑑賞	本機とテレビをケーブルでつながなくとも、本機から画像を転送して、ネットワーク対応のテレビで画像を見ることができます。

## 設定

飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、無線機器を使用する設定を一時的にすべて無効にできます。 (切/入)
マルチコントロール設定	マルチカメラコントロールの接続方法を設定します。 (シングル接続/マルチ接続)
ライブ時のビデオ記録	本機で撮影している映像を、USTREAMなど動画共有サイトにライブ配信するときに、その映像を本機の記録メディアに記録します。 (入/切)
アクセスポイント簡単登録	WPSボタンまたはAOSSボタンがあるアクセスポイントの場合は、簡単にアクセスポイントを登録できます。
アクセスポイント手動登録	手動でアクセスポイントを登録できます。 (WPS PIN方式/IPアドレス設定/IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/優先接続)
機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更します。
MACアドレス表示	本機のMACアドレスを表示します。
SSID・PWリセット	接続許可した機器を変更するときにリセットします。
接続情報リセット	接続するアクセスポイントを変更するときにリセットします。

## 再生機能

イベントビュー	イベント(日付単位)で画像を再生します。
---------	----------------------

## 編集・コピー

削除	不要な画像を削除します。 (画像選択/イベント内全て)
プロテクト	画像を誤って削除してしまうことを防ぎます。 (画像選択/イベント内全て設定/イベント内全て解除)

コピー	本機を使って記録メディアの画像をコピーできます。 (画像選択/イベント内全て)
ダイレクトコピー <sup>*2</sup>	本機と外付けメディアの接続中に手でコピーできます。

## セットアップ

### メディア設定

メディア切換	撮影した画像を記録するメディアを選びます。
メディア情報	記録メディアの録画可能時間や使用可能領域などの目安を確認できます。
フォーマット	メディア内の動画・静止画をすべて削除して、メディアの容量を元に戻せます。
管理ファイル修復	管理ファイル修復のメッセージが表示されたときなど、管理ファイルを修復する必要があるときに選びます。
ファイル番号	静止画/MP4動画のファイル番号の付けかたを選びます。 (連番/リセット)

### 再生設定

日付/データ表示	撮影時に自動的に記録された情報を再生時に表示できません。(切/日付時刻データ/カメラデータ)
音量	再生時の音量を調節できます。
モーションショットビデオ設定	モーションショットビデオの残像の間隔を調整します。
BGMダウンロード	パソコンと接続して、お手持ちの音楽CDなどからお好みの曲をダウンロードできます。
BGMデータ消去	BGMファイルをすべて消去します。

### TC/UB

TC/UB Disp	カウンター、タイムコード、ユーザービットの表示を設定します。 (カウンター/TC/U-Bit)
TC Preset	タイムコードを設定します。
UB Preset	ユーザービットを設定します。
TC Format	タイムコードの記録方式を選びます。 (DF/NDF)

TC Run	タイムコードの歩進方法を選びます。 (REC/FREE)
TC Make	タイムコードを記録メディアに記録する方法を選びます。 (Preset/ Regenerate)
UB Time Rec	時刻をユーザービットコードとして記録する/しないを選びます。 (入/切)

## ↔接続

TVタイプ	接続するテレビの横縦比に合わせて出力信号を変換します。 (16:9/4:3)
HDMI解像度	HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選びます。 (オート/2160p/1080p/1080p/1080i/720p)
HDMI機器制御	HDMIケーブルでブラビアリンク対応のテレビとつないで再生するとき、テレビのリモコンで本機の再生操作ができます。 (入/切)
USB接続	USBケーブルで本機と接続機器をつないでも、USB接続が開始されないときに使います。
USB接続設定	本機とパソコンまたはUSB機器と接続するときのモードを設定します。 (オート/MTP/Mass Storage)
USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高めます。 (マルチ/シングル)

## 🔧一般設定

操作音	撮影のスタート/ストップ時や操作時にメロディを鳴らすか、鳴らさないかの設定ができます。 (入/切)
モニター明るさ	モニターの明るさを調節できます。 (標準/明るい)
録画ランプ	録画中に本体前面の録画ランプが点灯しないように設定できます。 (入/切)

リモコン	赤外線リモコンを使用するか、しないかを設定します。 (入/切)
モニターで電源オン	液晶モニターの開閉で、電源のオン/オフをするかを設定 します。(FDR-AX40のみ)
バッテリーインフォ	装着しているバッテリー残量の目安を確認できます。
パワーセーブ	液晶モニターと自動電源オフの設定を変更できます。 (標準/強/切)
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
デモモード	デモンストレーション再生についての設定を行います。 (入/切)
バージョン表示	本機のソフトウェアバージョンを表示します。
認証マーク表示	本機が対応している認証の一部のマークを表示します。

### 🕒 時計設定

日時設定	日時に関する設定をします。 (表示形式/サマータイム/日時)
エリア設定	時計を止めることなく、時刻補正ができます。

\*1 フラッシュ (別売) を使用時に設定できます。

\*2 外付けメディア (別売) を使用時に設定できます。

# 故障かな？と思ったら

## 困ったときにすること

下記の流れに従って対応してください。

### 1 「故障かな？と思ったら」の項目をチェックして、本機を点検する。

「ヘルプガイド」(3ページ)もあわせてご覧ください。

### 2 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。

### 3 [設定リセット](49ページ)を行い、電源を入れる。

この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

### 4 ハンディカム™ オフィシャルWEBサイトなどで確認する。

<http://www.sony.jp/handycam/>

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

ハンディカムの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)

[http://www.sony.jp/support/handycam/repair\\_service/](http://www.sony.jp/support/handycam/repair_service/)



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

### 5 相談窓口で電話で問い合わせる。

相談窓口について詳しくは、裏表紙をご覧ください。

## 全体操作

### 電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける。
- ACアダプターをコンセントに差し込む。

### 電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。

## メニュー項目の設定が変わっている。

- おまかせオート撮影中は、画質に関わる設定が自動で変わります。
- 次のメニュー項目は、動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えると、お買い上げ時の設定に戻ります。
  - － [H]フェーダー
  - － [C]セルフタイマー

## 本機が温かくなる。

- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

## おまかせオートが解除される。

- 次の設定を変更するとおまかせオートは解除されます。
  - － [タイムラプス撮影]
  - － [なめらか スロー録画]
  - － [ゴルフショット]
  - － [ハイスピード録画]
  - － [ホワイトバランス]
  - － [Spot測光フォーカス]
  - － [スポット測光]
  - － [スポットフォーカス]
  - － [カメラ明るさ]
  - － [フォーカス]
  - － [AGCリミット]
  - － [AEシフト]
  - － [WBシフト]
  - － [Low Lux]
  - － [シーンセレクション]
  - － [ピクチャーエフェクト]
  - － [H]シネマトーン
  - － [自動風ノイズ低減]

- － [C]手ブレ補正
- － [自動逆光補正]
- － [顔検出]
- － 絞り
- － シャッタースピード

## バッテリー・電源

### 電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約2分以上続くと、自動的に電源が切れます。[パワーセーブ]の設定を変更するか、もう一度電源を入れる。
- バッテリーを充電する。

### バッテリーの充電中、POWER(電源)/CHG(充電)ランプが点灯しない。

- 電源を切る。
- バッテリーを正しく取り付け直す。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している。

### バッテリーの充電中、POWER(電源)/CHG(充電)ランプが点滅する。

- USB充電のときは、USBケーブルを抜いて再度つなぐ。
- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります。

- バッテリーを正しく取り付け直す。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、相談窓口にお問い合わせください。

## バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不十分であるためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

## バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不十分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

## モニター

### メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できない状態です。
- 機能によっては、同時に使えないものがあります。

### 液晶モニターのボタンが表示されない。

- 液晶モニターを軽くタッチする。

### 液晶モニターのボタンがすぐに消えてしまう。

- [画面表示設定]を[入]にすると常時表示させることができます。

### パネルに格子状の点が見える。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

### 少し時間が経つと液晶モニターが暗くなる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約1分以上続くと、自動的に液晶モニターの表示が暗くなります([パワーセーブ])。

## ファインダー (FDR-AX55)

### ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整ダイヤルを動かす。

### ファインダーの画像が消えている。

- ファインダーが引き出されていても、液晶モニターを開いているとファインダーには画像が映りません。液晶モニターを閉じる。

## メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマットしたメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットする。
- 設定されている[記録方式]によって、使用できるメモリーカードが異なります。詳しくは、「メモリーカードを入れる」(11ページ)をご覧ください。

メモリーカードの画像が削除できない。

- 編集画面では削除する画像を一度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトされた画像は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う。

再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機がメモリーカードの再生に対応していません。

## 撮影

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。再生を停止して、[MENU]→[撮影モード]→[動画]または[静止画]を選ぶ。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 記録メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている。不要な画像を削除する。

静止画を撮影できない。

- 次の設定のとき、静止画を記録できません。
  - － [なめらかスロー録画]
  - － [ゴルフショット]
  - － [ハイスピード録画]
  - － [フェーダー]
- [録画モード]や[フレームレート]によっては、動画撮影モードで静止画の撮影はできません。
- [ピクチャーエフェクト]のとき、動画撮影モードでの静止画撮影はできません。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

## 画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

## 実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります。

## 録画が止まる。

- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

## START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

## オートフォーカスができない。

- [フォーカス]を[オート]にする。
- オートフォーカスのピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせる。

## 手ブレ補正ができない。

- [手ブレ補正]を[インテリジェントアクティブ]、[アクティブ]または[スタンダード]、[手ブレ補正]を[入]にする。
- [手ブレ補正]を[インテリジェントアクティブ]、[アクティブ]または[スタンダード]、[手ブレ補正]が[入]になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

## 画像が正しく記録・再生できない。

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。画像を保存したあと、[フォーマット]する。

## 画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

## 横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明や、LEDライトの照明下で撮影すると、画面に横帯が見える場合があります。このようなときは、シャッター速度を関東地方などの電源周波数が50Hzの地域では1/100、関西地方などの電源周波数が60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

## [モニター明るさ]を調節できない。

- 次のとき、[モニター明るさ]は調節できません。
  - － 液晶モニターを外側に向けて本体に収めているとき
  - － ACアダプターを使用しているとき

## 音声为正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを接続または抜いた場合、音声为正しく記録されないことがあります。動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。
- [録音レベル]を調節して音量を最低に絞ると、音声は記録されません。

## 静止画が自動的に記録されている。

- [スマイルシャッター]が[動画録画中のみ]または[常時]になっていると、人物の笑顔を認識して静止画を自動的に記録します。

## 再生

### 画像を再生できない。

- 動画フォーマット切替ボタンで、再生したい動画のタイプ(XAVC S/AVCHD/MP4)を選ぶ。
- 他機で撮影した動画・静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。
- [記録方式]を[4K]XAVC S 4K]に設定している場合、[フレームレート]を[30p]に設定していると[フレームレート]を[24p]に設定して撮影した動画は再生できません。同様に、[24p]に設定していると[30p]の設定で撮影した動画は再生できません(サムネイルも表示されません)。再生の前に、撮影時のフレームレートに設定してください。

### 静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません。

## 動画が止まって見える。

- 動画撮影中に記録した静止画が再生されている。お買い上げ時の設定では、動画と静止画が続けて再生されます。

## サムネイル画像の代わりにアイコンが表示される。

- が表示されている場合は、管理ファイルが壊れている。  
[管理ファイル修復]で、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合はが表示されている画像を削除する。
- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはが表示されることがあります。
- 撮影の後で、液晶モニター右上の記録メディアアイコンが点灯しているときやアクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れてが表示されることがあります。

## 音声が小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする。
- [録音レベル]を調節して音量を最低に絞ると、音声が記録されません。
- [なめらかスロー録画]、[ゴルフショット]で、音声が記録できません。

## パソコンや他の再生機器で再生すると、音声の左右のバランスが偏って聞こえる。

- 2chステレオの再生機器の場合は、音声変換の方式(ダウンミックス方式)を切り換える。詳しくは再生機器の取扱説明書をご確認ください。
- ソフトウェアPlayMemories Homeを使ってディスク作成するとき、設定を2chに変更する。
- 5.1chサラウンドで撮影した音声を、パソコンや再生機器が2ch(通常のステレオ音声)に変換するとき起きることがある現象で、故障ではありません。
- 撮影するときに本機の[オーディオモード]を[2chステレオ]にする。

## 本機での編集

### 編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

### 分割できない。

- 次の動画は分割できません。
  - 極端に記録時間の短い動画
  - XAVC S 4K、XAVC S HDの動画
  - MP4の動画
- プロテクトを解除してから分割する。

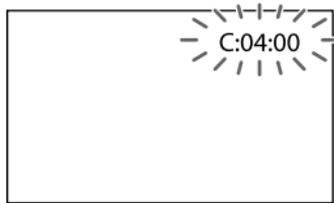
## ダビング・外部機器

### ダビングできない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- AVケーブル(別売)が正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する。

## 自己診断・警告表示の例

液晶モニターまたはファインダー(FDR-AX55)に次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、相談窓口にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。



メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

その他

### C:(またはE:)□□:□□(自己診断表示)

- C:04:□□
  - 指定以外のバッテリーが使われている。必ず指定のバッテリーを使う。
  - ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ。
- C:06:□□
  - バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。
- C:13:□□ / C:32:□□
  - 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。
- E:□□:□□
  - 「困ったときにすること」(50ページ)の操作をお試しください。

# 使用上のご注意

## ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- バッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

## 電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

## 他機での再生について

本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

## 録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- メモリーカードを誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 必ず事前のためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところで使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください。

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

## モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

## 本機の温度について

ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

## 温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

## 無線に関連する設定 (Wi-Fi、NFCなど)を一時的に無効にする

飛行機などに搭乗するとき、一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。[飛行機モード]を[入]にしてください。

## 機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

## 周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

## この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

## 認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は本機の画面上で確認することができます。

[MENU] → [セットアップ] → [🔑 一般設定] → [認証マーク表示] を選択してください。

本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

## ワイヤレスLANに関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国の電波関連規制等に違反する恐れがあり、弊社では一切の責任を負いかねます。

## ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLAN の使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

# 主な仕様

## システム

### 信号方式

- UHDTV方式
- デジタルハイビジョン方式
- NTSCカラー、EIA標準方式

### 動画記録方式

- XAVC S方式 (XAVC S規格)
- 映像：MPEG-4 AVC/H.264
- 音声：MPEG-4 Linear PCM 2ch (48 kHz/16 bit)
- AVCHD方式 (AVCHD規格 Ver.2.0準拠)
- 映像：MPEG-4 AVC/H.264
- 音声：Dolby Digital 2ch/5.1ch ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載<sup>\*1</sup>
- MP4方式
- 映像：MPEG-4 AVC/H.264
- 音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

<sup>\*1</sup> ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

### 静止画ファイルフォーマット

- ：DCF Ver.2.0準拠
- ：Exif Ver.2.3準拠
- ：MPF Baseline準拠

### ファインダー(FDR-AX55)

- 電子ファインダー
- 画面サイズ：0.6 cm (0.24型)
- 有効画素数：1 555 200ドット相当

### 記録メディア (動画・静止画)

- 共通：
  - 内蔵メモリー 64 GB<sup>\*2</sup>
  - XAVC S 4K (100Mbps)、XAVC S HD
  - ハイスピード録画 (100Mbps) (動画)：
  - SDHCメモリーカード (UHSスピードクラス3以上) <sup>\*3</sup>
  - SDXCメモリーカード (UHSスピードクラス3以上) <sup>\*3</sup>
  - microSDHCメモリーカード (UHSスピードクラス3以上) <sup>\*3</sup>
  - microSDXCメモリーカード (UHSスピードクラス3以上) <sup>\*3</sup>
  - XAVC S HD、XAVC S 4K (60Mbps) (動画)：
  - SDHCメモリーカード (Class10またはUHSスピードクラス1以上) <sup>\*3</sup>

- SDXCメモリーカード (Class10またはUHSスピードクラス1以上) <sup>\*3</sup>
- microSDHCメモリーカード (Class10またはUHSスピードクラス1以上) <sup>\*3</sup>
- microSDXCメモリーカード (Class10またはUHSスピードクラス1以上) <sup>\*3</sup>
- AVCHD、静止画：

- メモリースティック マイクロ (Mark2)
- メモリースティック PRO-HGデュオ
- SDカード (Class4以上またはUHSスピードクラス1以上)
- microSDカード (Class4以上またはUHSスピードクラス1以上)

- <sup>\*2</sup> 使用可能容量 約62.4 GB
- 容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。内蔵デモンストレーション動画は削除が可能です。
- <sup>\*3</sup> 4GB以上の容量が必要です。

### 撮像素子：

- 1/2.5型 Exmor R™ CMOSセンサー
- 記録画素数：
  - 静止画時 最大1660万画素相当<sup>\*4</sup> (5440 × 3056) (16 : 9時)
  - 総画素数：約857万画素
  - 動画時有効画素数<sup>\*5</sup> (16 : 9)：約829万画素
  - 静止画時有効画素数 (16 : 9)：約829万画素
  - 静止画時有効画素数 (4 : 3)：約622万画素

- ズームレンズ：ZEISS バリオ・ゾナーT\*
  - 20倍 (光学) <sup>\*5</sup>、40倍 (クリアイメージ、HD動画時のみ) <sup>\*6</sup>、30倍 (クリアイメージ、4K動画時のみ) <sup>\*6</sup>、250倍 (デジタル)
  - フィルター径：55 mm
  - F2.0 ~ F3.8
  - f=4.4 mm - 88 mm
  - 35 mmカメラ換算では
  - 動画撮影時<sup>\*5</sup>：
    - f=26.8 mm - 536 mm (16 : 9)
  - 静止画撮影時：
    - f=26.8 mm - 536 mm (16 : 9)
  - 色温度切り換え：[オート]、[ワンプッシュ]、[屋内]、[屋外]

最低被写体照度：

4K：9 lx(ルクス)

HD：6 lx(ルクス) (お買い上げ時、  
[シャッタースピード] 1/60秒)

4K：1.8 lx(ルクス)

HD：1.2 lx(ルクス) ([Low Lux]が  
[入]時、[シャッタースピード] 1/30秒)  
ナイトショット時(FDR-AX55)：0 lx  
(ルクス) ([シャッタースピード] 1/60  
秒)

\*4 ソニー独自の画像処理システム  
BIONZ-Xにより、静止画は表記の  
記録サイズを実現しています。

\*5 [手ブレ補正]が[スタンダード]、  
または[切]のとき

\*6 [手ブレ補正]が[アクティブ]の  
とき

## 入/出力端子

HDMI OUT端子：HDMIマイクロコネク  
ター

MIC入力端子：ステレオミニジャック  
(φ3.5 mm)

ヘッドホン端子：ステレオミニジャック  
(φ3.5 mm)

USB端子：マルチ/マイクロUSB端子\*7

\*7 マイクロUSB規格に対応した機器  
をつなぐことができます。

## 液晶モニター

画面サイズ：7.5 cm(3.0型、アスペクト比  
16：9)

総ドット数：

FDR-AX40：

460 800ドット

横960 × 縦480

FDR-AX55

921 600ドット

横1 440 × 縦640

## ワイヤレスLAN

対応規格：IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯：2.4 GHz帯

セキュリティ：WEP/WPA-PSK/  
WPA2-PSK

接続方式：WPS(Wi-Fi Protected Setup)  
/マニュアル

アクセス方式：インフラストラクチャーモー  
ド

## 電源部、その他

電源電圧：DC 6.8 V/7.4V(バッテリー端子  
入力)、DC 8.4 V(ACアダプター)

USB充電：DC 5 V 1 500 mA

消費電力：

ファインダー使用時(FDR-AX55)：

4K：4.9 W、HD：3.6 W\*

液晶モニター使用時、明るさ標準：

4K：4.9 W、HD：3.6 W\*

\* AVCHD FHモードのとき

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法(約)：

FDR-AX40：

73 mm × 80.5 mm × 142.5 mm

(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

73 mm × 80.5 mm × 166.5 mm

(突起部を含む、付属バッテリー装着状  
態)(幅×高さ×奥行き)

FDR-AX55：

73 mm × 80.5 mm × 161.0 mm

(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

73 mm × 80.5 mm × 166.5 mm

(突起部を含む、付属バッテリー装着状  
態)(幅×高さ×奥行き)

本体質量(約)：

FDR-AX40：510 g(本体のみ)

FDR-AX55：535 g(本体のみ)

撮影時総質量(約)：

FDR-AX40：

610 g(付属バッテリーを含む)

FDR-AX55：

635 g(付属バッテリーを含む)

## ACアダプター AC-L200D

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V

## リチャージャブルバッテリーパック

### NP-FV70

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 6.8 V

容量：

公称容量：14.0 Wh(2 060 mAh)

定格(最小)容量：13.3 Wh

(1 960 mAh)

使用電池：Li-ion

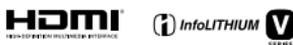
本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 商標について

- AVCHD、AVCHD Progressive、AVCHD ロゴおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc™ および Blu-ray™ はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークを明記していない場合があります。



## GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします) またはGNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、次のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。「ライセンス内容(英文)」に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

### それでも具合の悪いときは

相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 修理に出される前に

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモ

リー内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。

- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確保させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

### 部品の保有期間について

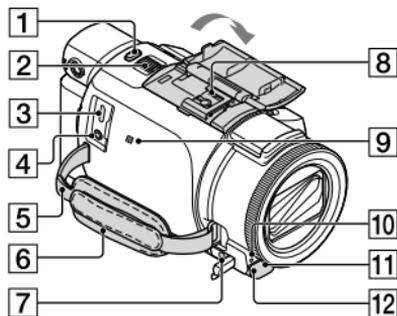
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

# 各部のなまえ

( )内の数字は参照ページです。



- 1 PHOTO (フォト) ボタン (15、17)
- 2 ズームレバー (15、17)
- 3 マルチ/マイクロUSB端子  
マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。アダプターケーブル VMC-AVM1 (別売) は非対応です。そのため、A/Vリモート端子対応のアクセサリを使用できません。
- 4 (マイク) 端子 (PLUG IN POWER)
- 5 ショルダーベルト取り付け部
- 6 グリップベルト
- 7 (ヘッドホン) 端子

- 8 マルチインターフェースシュー

ni Multi Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリについて詳しくは専用サポートサイトでご確認ください。

他社のアクセサリを取り付けた場合の動作は保証できません。

<http://www.sony.jp/support/handycam/>

シューアダプター (別売) を使用することで、アクティブインターフェースシュー対応のアクセサリも使用できます。

故障の原因になりますので、シンクロ端子が高電圧な市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。

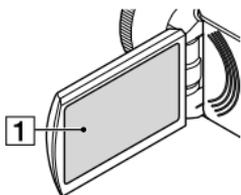
- 9 Nマーク (36)

NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

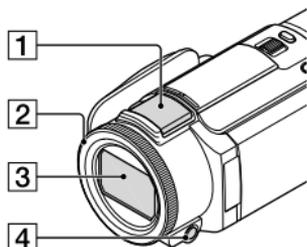
- 10 録画ランプ

- 11 リモコン受光部

- 12 NIGHTSHOT (ナイトショット) 発光部 (FDR-AX55)



① 液晶モニター/タッチパネル



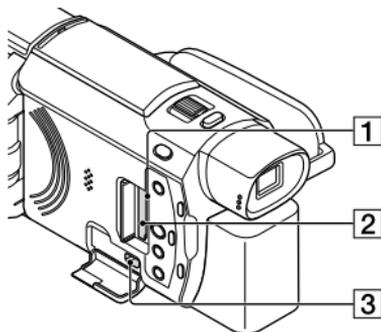
① 内蔵マイク

② マニュアルリング (FDR-AX55) (19)

マニュアル機能を割り当てることができます。

③ レンズ (ZEISSレンズ搭載)

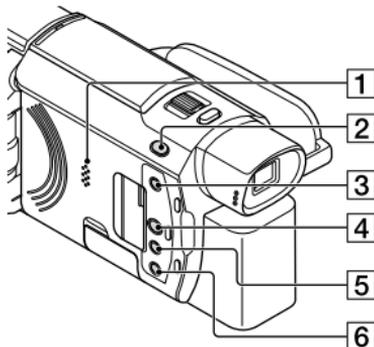
④ MANUAL (マニュアル) ボタン (FDR-AX55)



① メモリーカードアクセスランプ (11)

② メモリーカード スロット (11)

③ HDMI OUT端子



① スピーカー

② 動画 (動画) / 静止画 (静止画) ボタン (FDR-AX55)

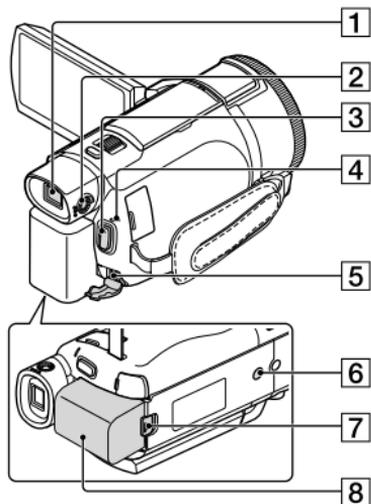
③ マイク消音 (マイボイスキャンセリング) ボタン

撮影者の声をおさえて動画を撮影します。

④ 再生 (画像再生) ボタン (20)

⑤ NIGHTSHOT (ナイトショット) ボタン (FDR-AX55)

⑥ 電源 (電源) ボタン



**1** ファインダー (FDR-AX55)

ファインダーを引き出すと電源が入ります。

**2** 視度調整ダイヤル (FDR-AX55)

ファインダーの画面表示がぼやけているときは、ダイヤルを回して調整します。

**3** START/STOP (スタート/ストップ) ボタン (15)

**4** POWER (電源) / CHG (充電) ランプ (7)

**5** DC IN 端子

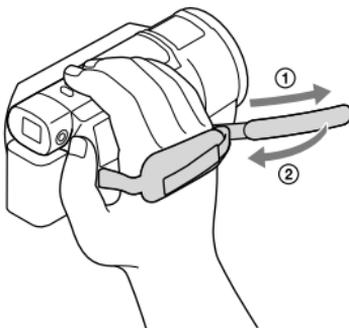
**6** 三脚用ネジ穴

三脚 (別売、ネジの長さが5.5mm以下) を取り付けます。三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。

**7** BATT (バッテリー) 取り外しレバー (9)

**8** バッテリーパック (7)

グリップベルトを締めるには



# 安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

## 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

## 内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

## 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

## 撮影時は周囲の状況に注意をほらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

## 指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

## 機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

## 電池やグリップベルトを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

## ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

その他



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

### 長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態していると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となることがあります。

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

### ワイヤレス機能ご使用上の注意

#### 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

#### 航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

#### 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

**水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない**

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

**ぬれた手で使用しない**

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

**不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

**コード類は正しく配置する**

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

**通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない**

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

**使用中は機器を布で覆ったりしない**

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

**長期間使用しないときは、電源を外す**

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

**レンズやモニターに衝撃を与えない**

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

**電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取り外すときは、手をそえる**

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

**ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない**  
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

その他

**危険** 電池についての  
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大げがや  
やけど、火災などを避けるため、下記の注意  
事項をよくお読みください。

**危険**

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外  
で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオープン  
で加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置し  
ない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管  
しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡  
らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

**警告**

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり  
するなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。



禁止

**注意**

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から  
取り外しておく。



指示

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。



**Li-ion**

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、  
一般社団法人JBRCホームページ  
<http://www.jbrc.com> を参照してください。

# 索引

## ア行

アフターサービス	65
インストール	35
映像の取り込み	28
液晶モニター	67
お問い合わせ先	76
主な仕様	61

## カ行

機能を割り当てる	19
記録/再生メディア	12
記録メディア	13
グリップベルト	68
故障かな?と思ったら	50
コピー	23
コンセントの電源で使う	8

## サ行

再生	20
削除	22
撮影可能時間	16
撮影/再生可能時間	8
撮影者の声	16
三脚	68
絞り	18
シャッタースピード	18
充電	7
充電時間	8
修理	65
使用上のご注意	58
ズーム	15
スマートフォン	35
静止画	17
操作音	10
ソフトウェア	28

## タ行

タッチパネル	67
ディスクの作成	29
テレビ	24
電源	10
動画	15
同時ビデオ記録	15
トリミングプレイバック	26
撮る	15

## ナ行

ネットワーク	25
--------	----

## ハ行

パソコン	28
パソコン環境	28
パソコンに接続して充電	8
バッテリー	7
フォーマット	13
付属品	6
ブルーレイディスク	32
ヘルプガイド	3
編集	20
保証書	65

## マ行

マイクロUSBケーブル	32
マイボイスキャンセリング	16
マニュアルで撮る	18
満充電	8
見る	20
無線アクセスポイント	39
メニュー	41
メモリーカード	11
メモリースティック PRO-HGデュオ	11

メモリースティック PROデュオ (Mark2) .....	11
メモリースティック マイクロ (Mark2) .....	11

## アルファベット

ACアダプター .....	7
Android .....	35
App Store .....	35
AVCHD .....	4
Google play .....	35
HDMIケーブル .....	24
iOS .....	35
microSDカード .....	11
MP4 .....	36
NFC .....	36
NFCワンタッチ .....	35
PlayMemories Home .....	28
PlayMemories Online .....	28
SDメモリーカード .....	11
USBアダプターケーブル .....	34
Wi-Fi .....	35
Windows .....	28
XAVC S 4K .....	4
XAVC S HD .....	4

## 詳しい情報はヘルプガイド (HTML)へ(3ページ)

ハイライトムービーメーカー  
ライブストーリーミング  
マルチカメラコントロール  
トリミングプレイバック  
タイムラプス撮影  
自己診断・警告  
静止画の撮影可能枚数  
メニューの詳しい説明



ハンディカムの最新サポート情報  
(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能な  
メモリーカードなど)

<http://www.sony.jp/support/handycam/>



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

ハンディカムホームページ

<http://www.sony.jp/handycam/>

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する  
情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

#### 使い方相談窓口

フリーダイヤル

………… **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

………… **050-3754-9577**

#### 修理相談窓口

フリーダイヤル

………… **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

………… **050-3754-9599**

※ 取扱説明書等の購入相談はこちら  
へお問い合わせください。



FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に  
「400」+「#」(本機や付属品)  
「404」+「#」(ソフトウェア「PlayMemories Home」)  
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp>

